

## 薬用植物学

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 1単位

《担当者名》高上馬希重 (薬学部)

### 【概要】

医薬品、食品、ハーブ、香辛料などに利用される薬用植物について植物名、薬用部位、性状、含有成分、薬効、問題点などの基本的性質、適切な取扱い方などの基礎的知識に関して学習する。

漢方薬を主とする医薬品、食品、ハーブ、香辛料などに利用される薬用植物について学ぶ。それぞれの薬用植物について植物名、薬用部位、性状、含有成分、薬効、問題点などの基本的性質を理解することを目的とする。医療品となる生薬原料の適切な取扱い方、危険な植物の誤用防止方などの基礎的知識を身につけることを目的とする。

### 【学修目標】

有効で安全な薬物療法の提供、人々の健康に寄与するために必要な、薬用植物に関する基本的な知識を修得できる。

薬用植物を医薬品として用いるさいの法令を理解し、基本的な知識を修得できる。

薬用植物について、植物名、薬用部位、性状、含有成分、薬効、問題点などの基本的性質が説明できる。

薬用植物から発見され、医薬品として利用される化学物質が説明できる。

「薬用植物学」は「生薬学」、「漢方薬学概論」、「基礎薬学実習」と関連することを説明できる。

薬用植物をもとにした医薬品に関する基礎および応用の科学的知識を修得できる。

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

### 【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。